

新規事業採択時評価結果（平成24年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業の概要

事業名	一般国道58号 北谷拡幅	事業区分	一般国道	事業主体	内閣府 沖縄総合事務局
起終点	自：沖縄県北谷町浜川 至：沖縄県宜野湾市伊佐	延長	4.3 km		
事業概要	北谷拡幅は、沿道に米軍基地等の就業施設、観光・商業施設が集中する北谷町浜川から宜野湾市伊佐に至る延長4.3 kmの現道拡幅事業である。				
事業の目的、必要性	北谷拡幅は、交通の集中する沖縄本島中南部西海岸地域において、交通混雑の緩和と沿道環境の改善を図るとともに、周辺観光施設へのアクセス性向上及び地域開発プロジェクト支援を目的とする道路である。				
全体事業費	約230億円	計画交通量	約93,800台/日		
事業概要図					

関係する地方公共団体等の意見
【沖縄県知事】・予算化に同意
・早期の事業完成に向けて、特段のご配慮をお願いしたい。

学識経験者等の第三者委員会の意見
・新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件
■費用対便益：便益が費用を上回っている。
■手続きの完了：都市計画決定手続き完了（平成22年3月）

事業評価結果

費用対便益	B/C	4.7	総費用：161億円 （事業費：155億円 維持管理費：6.3億円）	総便益：762億円 （走行時間短縮便益：736億円 走行費用減少便益：36億円 交通事故減少便益：-9.9億円）	基準年 平成23年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=5.2 (交通量 +10%)	B/C=2.4 (交通量 -10%)	
		事業費変動	B/C=4.3 (事業費 +10%)	B/C=5.3 (事業費 -10%)	
	事業期間変動	B/C=4.2 (事業期間 +20%)	B/C=5.2 (事業期間 -20%)		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	北谷地区の渋滞緩和が見込まれる。（混雑度が現況から約22%改善） 【渋滞損失時間の改善】 整備無 約91.4万人時間/年km ⇒ 整備有 約73.1万人時間/年km (20%減少)	
		事故対策	○	交差点等の安全対策を講じることにより、安全性向上が図られる。	
		歩行空間	○	自転車道、歩道の整備により、安全性向上が図られる。	
	社会全体への影響	住民生活	○	交通混雑の緩和により、地域住民及び観光客の円滑な移動が確保できる。	
		地域経済	○	北谷地区（観光振興地域）には、観光・商業施設が立地している他、就業施設も集積、さらには返還跡地開発等（区画整理事業等）の各種事業やプロジェクトが計画されているが、円滑な交通を確保することにより、アクセス性向上が図られ、地域プロジェクトの支援が図られる。	
		災害	-		
		環境	○	地球環境の改善：CO ₂ 8,116t- CO ₂ /年削減 並行区間の沿道環境の改善：NOx 21.4t/年削減、SPM 2.19t/年削減	
	地域社会	○	町の区画整理事業整備等と合わせ北谷拡幅を整備する事により、地域の活性化が見込まれる。		
事業実施環境	○	・平成22年3月5日付け、都市計画決定済み。			

採択の理由

費用便益比が4.7と、便益が費用を上回っているとともに、都市計画手続が完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
また、交通渋滞の緩和、定時性・速達性・安全性の向上、観光振興や地域経済の活性化も期待できる等、事業効果が高いと判断できる。
以上より、本事業の新規事業については妥当である。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。